

施設使用料の 見直しについて

施設の目的や使われ方に応じた、
利用者負担と市民全体負担のあり方



日 時

2026年7月2日（木）14：30～



場 所

高梁市文化交流館3F会議室②③



作成者

高梁市役所 財政課行政改革推進係

なぜ見直しを検討しているのか

維持費が上がる中で、施設を支える負担のバランスを確認します

維持費が上がっています



電気代、燃料費、修繕費など、施設を維持するために必要な費用が上がっています。

使用料だけでは支えられません



使用料でまかなえない部分は、市の財源、つまり市民全体の負担で支えています。

一律の値上げではありません



施設の目的や使われ方が異なるため、すべてを同じように見直すことは適切ではありません。

※2020年を基準とした2026年5月時点の消費者物価指数は113.5（総務省）

考えるべきこと

施設を利用する方
の負担

市民全体で支える
負担

どちらか一方ではなく、施設の役割に応じて「負担の考え方」を整理します。

これまでの検討で整理した主な考え方

庁内での検討を踏まえ、主に三つの視点で整理しています

1

施設を維持する費用と 使用料のバランス

費用がどの程度かかり、現在の
使用料でどの程度まかなえてい
るかを確認します。

2

施設の目的や役割を 踏まえた整理

市外から人を呼ぶ、地域活動を
支えるなど、施設ごとの目的を
踏まえて整理します。

3

利用のしかたに応じた 負担の考え方

市内・市外利用、地域活動・営
利利用など、利用実態に応じた
負担のあり方を検討します。

整理の前提

- 単に「維持費が上がったから使用料も上げる」という考え方だけでは整理しません。
- 急に大きな負担増とならないよう、見直し幅、周知期間、近隣市町とのバランスを確認します。
- 利用者を増やす取組や、運営方法の見直しも選択肢として検討します。

考え方の整理

施設の目的や使われ方に応じて、見直し方針を分けて考えます

1

費用と使用料の バランス

施設を維持する費用を確認し、利用する方に一定の負担をお願いする必要があるか検討します。



ただし、急な負担増とならないよう、見直し幅や周知期間も確認します。

2

施設の 目的や役割

市外から人に来てもらうきっかけ、市の魅力発信、地域のにぎわいにつながる施設があります。



まず利用者を増やす取組や、施設の魅力向上、運営方法の見直しを検討することも考えられます。

3

利用のしかたに 応じた負担

市内の方と市外の方、地域活動と営利目的など、利用のしかたによって負担の考え方を分けるべきではという意見もあります。



利用実態を確認しながら、公平で納得しやすい料金のあり方を考えます。

委員の皆さまにご意見を伺いたいこと

今後の検討に当たり、地域が目線・利用者の目線からご意見をお願いします

- 1 費用が上がっている中で使用料を見直す場合、どのような点に配慮すべきでしょうか。
例：利用者への影響、周知期間、近隣市町との料金差、急な負担増を避けることなど
- 2 施設によっては、すぐに使用料を上げるのではなく、まず利用者を増やす取組や運営方法の見直しを行うという考え方について、どう思いますか。
- 3 市内の方と市外の方で、使用料の考え方を分けることについて、どう思いますか。
- 4 使用料を上げる施設と据置きとする施設に分けた場合、利用者として不公平感を感じますか。

本日は、個別施設の料金改定を決める場ではなく、今後の検討で重視すべき視点についてご意見を伺うものです。